

検証結果【企業版ふるさと納税活用事業】(書面検証)

No.	事業名	事業目的及び概要	事業実施状況	担当課における評価		検証委員からの評価	
				所見	評価	所見	評価
1	観光プロモーションプロジェクト推進事業	<p>企業版ふるさと納税等を活用し、美馬市にドラマやCM等のロケを誘致して、当該映像作品を通じて本市の魅力や認知度の向上を図る。</p> <p>また、ロケツアーリズムやコラボ商品等を開発し、観光地としての高付加価値化を実現して、新たな誘客による地域の「儲かる観光」を推進する。</p>	<p>令和5年4月～6月放送のドラマ「僕らの食卓」の撮影に係る、企業版ふるさと納税等寄附の受け入れ、美馬市・市内事業者を中心としたドラマロケ支援委員会の設立等、美馬市でのドラマロケに対して全面的なバックアップを行った。</p> <p>令和4年度は合計2,550万円の寄附が集まった。</p> <p>【KPI】 ①うだつの町並み観光入込客数 目標値：140,000人 実績値：136,725人</p>	<p>SNS等を確認すると、美馬市に関心を寄せているコメントもあり、地方創生に相当程度効果があったと考えられる。放送期間終了後のファンの誘客に努めた。</p>	<p>②本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度(7～8割)達成したなど)</p>	<p>・本事業が観光入込客数の増加に直接的な影響を及ぼしたとは言い切れないが、多額の寄附が寄せられたことやロケ支援委員会の設立等から、美馬市への関心が相当程度高まっていたことが推察されるため、地方創生に効果があったと考えられる。</p> <p>・美馬市に関する「情報接触度」をアップさせ、認知度向上による訪問意向や購買意向、さらには居住意向にまで結びつける効果の持続を期待したい。</p> <p>・聖地巡礼やコラボ商品等の状況から、今後はより具体的な影響を確認したい。</p>	<p>①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」</p>
2	子どもたちに感動を与える芸術体験事業	<p>地域交流センターの市民ホールを活用し、市内の子どもたちに音楽や舞台など、「本物の芸術」に直接触れる機会を提供する。</p>	<p>令和4年度は、小学校4年生から中学校3年生の計1,183人を対象にオペラ鑑賞を行う予定だったが、公演直前の新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりホールでの鑑賞を取り止め、公演をDVD化して各学校で視聴した。</p> <p><公演内容> 小中共通「フィガロの結婚」、小学校「魔笛」、中学校「マダムバタフライ」及び「椿姫」</p> <p>【KPI】 ①事業に対する小学生の満足度 目標値：90% 実績値：78.1%</p>	<p>アンケートにおいては約8割の児童生徒から高評価を得られたことから、生演奏の体験によりさらに評価は高まると考えられる。</p>	<p>②本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度(7～8割)達成したなど)</p>	<p>・コロナ禍で、文化芸術活動が大きな影響を受けている中で、DVD鑑賞という方法に変更しながらも芸術鑑賞の機会を確保できたことは評価したい。</p> <p>・学齢期にハイレベルな芸術に触れる環境があることは、子どもや保護者が美馬市に誇りを持つ一つの要素となり得る。</p> <p>・令和5年度以降はホールでの鑑賞が可能となると思われるため、再開を期待している。</p> <p>・教育関連の事業においては、児童の感想だけでなく、保護者がこの事業にどのような印象を抱いているか、という観点も重要である。</p>	<p>①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」</p>

No.	事業名	事業目的及び概要	事業実施状況	担当課における評価		検証委員からの評価	
				所見	評価	所見	評価
3	移住創業支援事業	<p>本市で新たに創業する移住者に対して、その創業に要する経費の一部を「創業等促進事業補助金」にて補助することにより、本市内において新たな需要や雇用の創出を促すとともに、移住者の定住を促進する。</p>	<p>令和4年度は、「インドアゴルフ練習場」、「ギター、作曲教室」、「療術業」の3事業者に補助金を交付した。</p> <p>【KPI】 ①支援事業による移住創業件数 目標値：16件 実績値：18件</p>	<p>稼働年齢層の県外からの帰省者や、他市からの移住者による創業であり、定住の促進や、雇用の創出に繋がっている。</p>	<p>①本事業は地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなど)</p>	<p>・移住創業件数は計画を上回っており、創業に対する補助金を始め地域の様々なサポートが功を奏していると言えるが、創業後のフォローアップも重要である。</p> <p>・本事業はUターンや移住を後押しするために有効であるため、利用者を増やすためにも、より効果的な制度の周知方法の検討に知恵を絞る必要がある。</p> <p>・今後は地域貢献事業や高齢者創業に補助金を上乘せする形にするとのことであるため、できる限り幅広い起業者に交付できるよう工夫してほしい。</p>	<p>①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」</p>
4	木屋平・古宮・口山地区見回り服薬サポート事業	<p>山間部にある木屋平、古宮、口山地区では医療機関が身近ではなく、若者との交流機会も少ないため、薬剤師等による見回り服薬サポートと安否確認を実施するとともに、大学薬学部と連携して、へき地医療研修を通じ大学生と高齢者との交流を深める。</p> <p>平成29年度から旧木屋平中学校校舎を改修した木屋平複合施設に入居し、活動を継続している。</p>	<p>NPO法人「山の薬剤師たち」に在籍する薬剤師が、3地区を巡回し、医薬品の配送や服薬の指導、安否確認の声かけや見守り活動、適切な服薬管理のための環境整備を行った。また、必要に応じてかかりつけ医や関係機関と連携し、適切な支援に繋がるようにサポートした。</p> <p><令和4年度事業実績> 訪問日数：211日、延べ292日 訪問人数：826人(788世帯)</p> <p>【KPI】 ①見回り服薬サポート年間回数 目標値：230回 実績値：211回</p>	<p>実績は計画値にとどかなかつたが、昨年度と同程度を維持している。スタッフ等の配置体制は昨年と同様で、効率的な事業運営が図られており、サービスも高水準で維持されている。</p>	<p>②本事業は地方創生に相当程度効果があつた(目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度(7~8割)達成したなど)</p>	<p>・医療機関のみならず薬局も身近ではない当該地区において、本事業は、地域住民の健康維持と生活の見守り、安否確認の観点から大きな意義がある。</p> <p>・大学薬学部との連携についても引き続き実施することで、次世代の地域医療サポートの人材育成につなげるほか、薬剤師を目指す学生と地域住民の交流の実態についても住民にPRし、地域福祉の満足度を高めてほしい。</p> <p>・KPIについては、住民減少等で目標を達成できないということであれば、目標値の見直しも必要である。</p>	<p>①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」</p>